

「法教育」の教材作成に
興味がある方のための

教材作成

*****ワークショップ*****

- * [日 時] 2019年8月31日(土) 10:30~18:00 *
- * [会 場] 商事法務研究会会議室 (最寄り:東京メトロ茅場町駅・八丁堀駅) *
- * [対 象] 法教育の教材作成に興味がある方ならどなたでも (先着20名) *
- * [概 要] 今回は新しい試みとして、事前指定した古典文学等を素材に
受講者を生徒役にしたソクラテック・メソッドでの模擬授業を
木庭先生に行っていただきます。
そこから、どんな教材化のヒントを得るかは受講者次第です。
意欲的な受講者をお待ちしています。 *
- * [講 師] 木庭 顕先生 (東京大学名誉教授) [ローマ法] *
- * [持ち物] Word搭載のPC、保存用のUSBメモリなど付属品、
教材作成で使用する資料等 *
- * ※ 事前課題があります *
- * [参加費] 1,000円 (弁当代込み) *
- * [申込方法] 氏名・所属・当日連絡がつく電話番号を明記のうえ、
法と教育学会事務局までメールでお申し込みください。 *

法と教育学会事務局

お申込み
お問い合わせ

URL <http://gakkai.houkyouiku.jp/>

MAIL gakkai@houkyouiku.jp

講師の紹介



こば あきら



木庭 顕 先生／東京大学名誉教授（ローマ法）



「私は、ギリシャ・ローマを対象とする歴史学の徒である。
法学者ではない。



近代の概念世界は全てギリシャ・ローマのそれを



土台として出来上がっている。特に政治やデモクラシー、
そして法はそうである。かくしてこれらを土台から



立て直すためには一度ギリシャ・ローマに立ちかえ



らなければならない。

このような立場を人文主義という。」



主なご著書：



『現代日本法へのカタバシス〔新版〕』（みすず書房，2018年）

『憲法9条へのカタバシス』（みすず書房，2018年）



『誰のために法は生まれた』（朝日出版社，2018年）

『現代日本公法の基礎を問う 笑うケースメソッド2』（勁草書房，2017年）



『ローマ法案内：現代の法律家のために』（勁草書房，2017年）

『法学再入門秘密の扉 民事法篇』（有斐閣，2016年）



『現代日本民法の基礎を問う 笑うケースメソッド』（勁草書房 2015年）

『法存立の歴史的基盤』（東京大学出版会，2009年）

『デモクラシーの古典的基礎』（東京大学出版会，2003年）

『政治の成立』（東京大学出版会，1997年） ほか

授 業 内 容

森鷗外『高瀬舟』『高瀬舟縁起』*を素材としてソクラティック・メソッドの授業を行う。これを読んで来るだけでよく、予備知識は不要もしくは有害である。

生徒以外を相手にどこまでうまく行くかわからない。

ましてこれが教育実践に役に立つのか、まして教材に結び付くのか、甚だ疑問である。それを承知で好奇心が働くならば、参加を歓迎する。

なお、法は素材とされない。そのことの意味は授業の中でおのずから明らかになる。

※ 新潮文庫版であれば一緒に収録されています